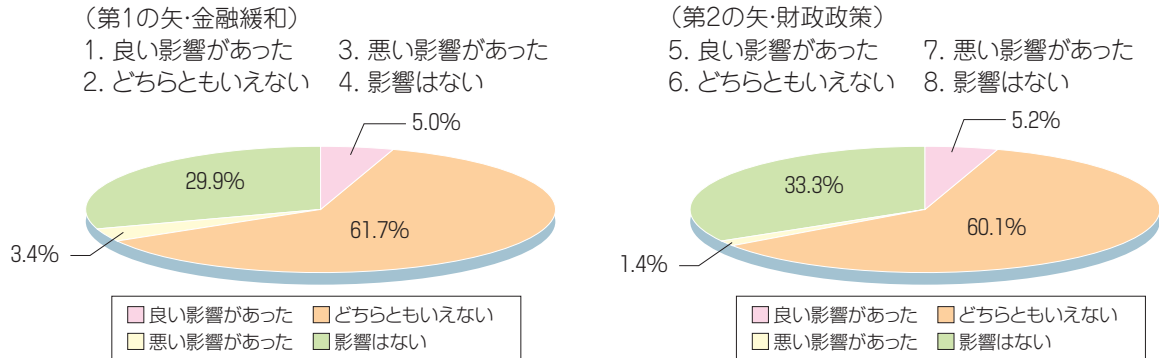


# 特別調査「アベノミクス」がもたらす中小企業への影響について

## 問1

「アベノミクス」において「第1の矢」とされる「大胆な金融緩和(円高是正・量的緩和等)」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを次の1～4より1つお答えください。また、「第2の矢」とされる「機動的な財政政策(大規模な公共投資等)」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを次の5～8より1つお答えください。

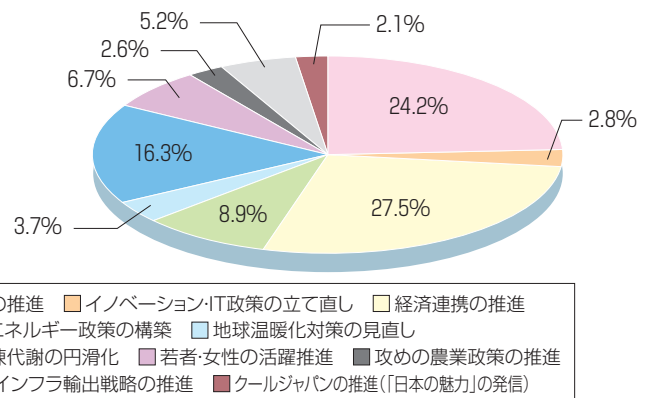


「アベノミクス」における「第1の矢・金融緩和」の影響について、最も多い回答は「どちらともいえない」61.7%、次いで「影響はない」29.9%という結果となりました。また、「第2の矢・財政政策」の影響について、最も多い回答は「どちらともいえない」60.1%、次いで「影響はない」33.3%という結果となりました。

## 問2

「アベノミクス」において「第3の矢」とされる「民間投資を喚起する成長戦略」について、どのような分野での成果を期待しますか。あてはまるものを次の1～10より最大3つまでお答えください。

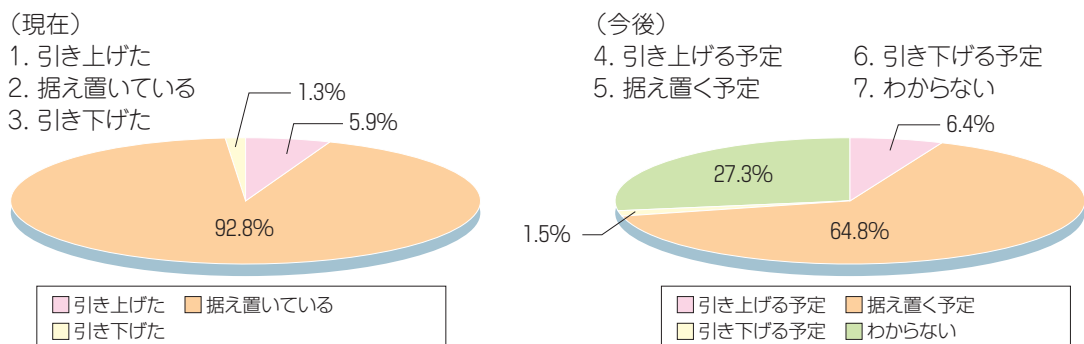
1. 規制改革の推進
2. イノベーション・IT政策の立て直し
3. 経済連携の推進
4. 責任あるエネルギー政策の構築
5. 地球温暖化対策の見直し
6. 産業の新陳代謝の円滑化
7. 若者・女性の活躍推進
8. 攻めの農業政策の推進
9. 資源確保・インフラ輸出戦略の推進
10. クールジャパンの推進  
(「日本の魅力」の発信)



「アベノミクス」における「第3の矢・成長戦略」では、どのような分野での成果を期待するかについて、最も多い回答は「経済連携の推進」27.5%、次いで「規制改革の推進」24.2%という結果となりました。

## 問3

貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、賃金を上げましたか。あてはまるものを以下の1～3より1つお答えください。また、今後(1年以内)賃金を引き上げる予定はありますか。あてはまるものを以下の4～7より1つお答えください。



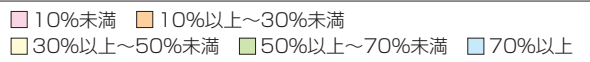
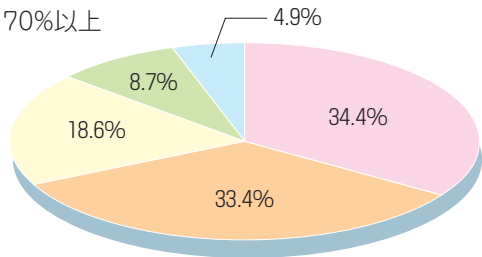
「アベノミクス」の流れの中で賃金を引き上げたかについて、最も多い回答は「据え置いている」92.8%、次いで「引き上げた」5.9%、また、今後(1年以内)賃金を引き上げる予定があるかについて、最も多い回答は「据え置く予定」64.8%、次いで「わからない」27.3%という結果となりました。

問4

「アベノミクス」では女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業者数に占める女性社員の割合はおよそどのくらいですか。あてはまるものを以下の1～5より1つお答えください。また、中期的に(3～5年後)女性社員の雇用について、どのように対応する予定ですか。あてはまるものを以下の6～9より1つお答えください。

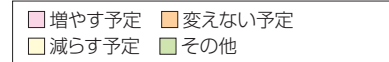
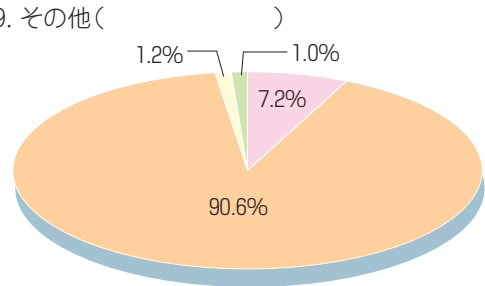
(割合)

1. 10%未満
2. 10%以上～30%未満
3. 30%以上～50%未満
4. 50%以上～70%未満
5. 70%以上



(雇用)

6. 増やす予定
7. 変えない予定
8. 減らす予定
9. その他( )

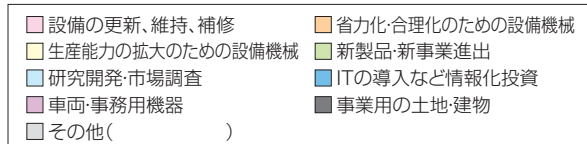
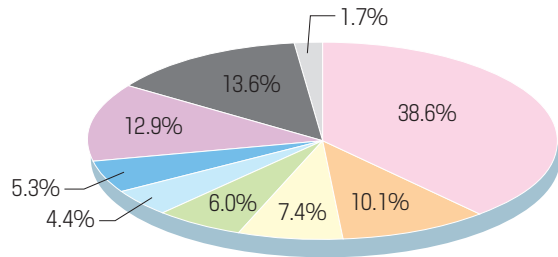


従業者数に占める女性社員の割合について、最も多い回答は「10%未満」34.4%、次いで「10%以上～30%未満」33.4%という結果となりました。また、中期的(3～5年後)な女性社員の雇用予定について、最も多い回答は「変えない予定」90.6%、次いで「増やす予定」7.2%という結果となりました。

問5

貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、設備投資を増やすとすれば、どのような内容が考えられますか。あてはまるものを以下の1～9より最大3つお答えください。

1. 設備の更新、維持、補修
2. 省力化・合理化のための設備機械
3. 生産能力の拡大のための設備機械
4. 新製品・新事業進出
5. 研究開発・市場調査
6. ITの導入など情報化投資
7. 車両・事務用機器
8. 事業用の土地・建物
9. その他( )



「アベノミクス」の流れの中で、設備投資を増やすとすればどのような内容かについて、最も多い回答は「設備の更新、維持、補修」38.6%、次いで「事業用の土地・建物」13.6%という結果となりました。